

小串での説明会

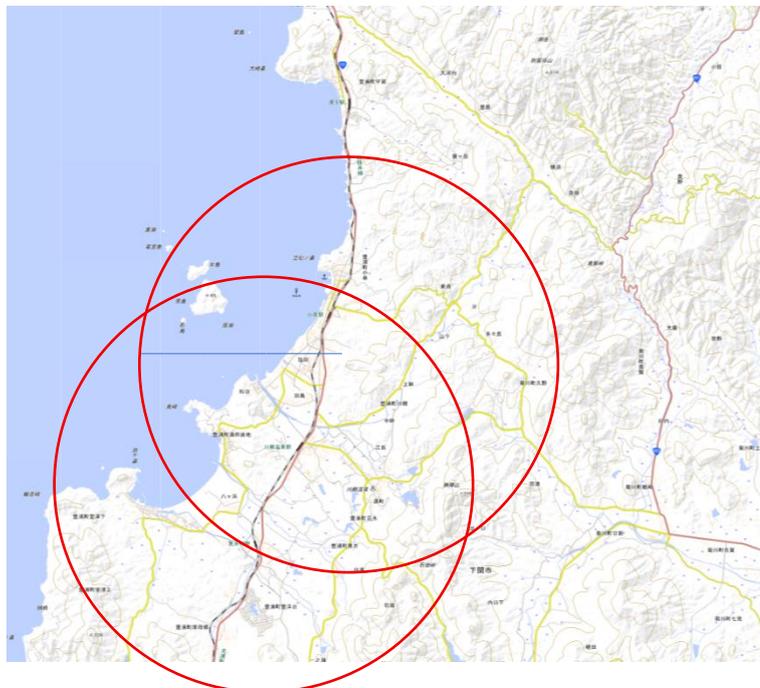
場所 小串公民館 講堂 出席者 30名程度? (含む保護者・小学校校長)

19:00~日程説明

市教委 挨拶

市教委からの計画説明(10分程度) + 三期計画についての説明

※市教委の留意点 6点 印刷物追加 ちなみの地図(西村作成)



- Q. この会がどういう趣旨で持たれているかの説明が口頭でしかない。市教委が統廃合の案を作り、各地域で説明する。と同時にパブリックコメントで意見を聞いている。必要があれば案に変更を加えて、基本計画とし、市議会に報告する。それで案が取れて基本計画ができ、その段階から統合のことを各地域で説明し、具体的なことを進めるという手順だと思う。案が取れた段階からがスタート、今日はそういう位置づけだということを確認したい。

計画案のそもそもが数十ページあるものを一枚に集約しているから仕方ないが、今日の資料は考え方の補足の説明のような部分で、適正化の実施の手順としては、本文では「学校の適正化の検討に当たっては、児童生徒の教育条件の改善の視点を中心に据えるべきですが、地域住民から見た学校は地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な場所であるとともに、防災、保育、地域の交流の場など、様々な機能を有している場合も多く、学校づくりがまちづくりと密接にかかわっていることとなります。また、本市では学校が抱える様々な問題を解決するために、全小中学校をコミュニティスクールに指定し、地域学校共同本部を各中学校区に設置するなど、地域と連携した学校づくりを推進しており、学校運営に地域住民が密接にかかわっている状況があります。このため、学校の適正化については、次に示す通り」というので、今日の資料に書いてある部分が示されているが、「保護者や地域住民に対する十分な説明を行うとともに、保護者や地域住民の理解や協力のもとに進めるものとしています」という基本的な考え方が書いてある(のに)その部分が省略されている。そこが地域との関係で言えばポイントだと思う。口頭では言ったが、抜けていることを指摘したい。

- A. 今回の説明会をしている位置づけは、四期計画の案を取りまとめたので、作成前に市民の意見を聞く、パブリックコメントと共に、統廃合の組み合わせに出ている学校については地元の説明会をし

ている。今後計画を策定し、その後統廃合について、どうすべきかを各地域で話し合いをさせていただき流れ。基本計画であり、実施する計画ではない。教育委員会が好ましいと考えている統廃合の組み合わせ、適正規模の取り組みを統廃合によって行うということを示してするものであり、どうするかについては各地域の各校区の皆様と話をするもの。第三期まででいくつか統廃合を実施している学校があるが、地元住民と確認が出来て進めている。確認できなければいけない。令和11年になったら実施するというものではない。合意が出来なければいけない。

資料の6番めの考えについて、学校と地域のかかわりを説明したところが資料として示していないことは申し訳ない。地域から学校をなくしていいとは思っていない。小規模化になることにより、学校の特徴であり、機能である「子どもたちが集まる場所」、それが一定の規模が保てなくなった時に学校としての機能を果たせなくなる、それを課題としており、規模を確保するために、統合していくというところで提案している。

人口減少が続いており、学校規模も小さくなっているが、全国でも人口が少なくなっているというところで、これについては、地域のありようも変化していると思う。その中で学校・地域というところの取り組みは今まで通りでない考えをもって、取り組んでいかないといけないと思う。

学校の規模は維持しないといけないと思っているので、地域の方と話し合う中で、どう考えるべきかを議論し、確認しながら進めていきたい。5年で統合をするわけではない。

Q. 卒業生。児童数の推移の中で、小串小の児童数が出ているが、平成17年の2月だったかに、教育委員会の規則で、従来の校区を廃止か変更して、小串地区から川棚小へ一部の児童がいけるようになったと理解している。その時代から今日まで、小串地区の中で、昔の校区で言えば、小串小に行くはずの子どもの内、何人くらいが毎年川棚小に行っているのか。よし悪しをいう訳ではなく、時代の流れもあるので、それを否定するものではないが、数字だけの中で、子どもが少なくなったから、学校の統廃合を考えるのはどうかと思う。

規模は小さくても小学校は地域の方の心のよりどころであり、色々な面で子どもたちも地域の方々も一緒になって色々なことが出来る身近な存在。そこも踏まえて尋ねたい。

A. 校区ごとの校区外通学児童の数は、公表しておらず、申し上げられないが、町全体の規模でいうと、511人の内、32名。

小規模校の良さも承知しており、生徒一人に向ける目は向けやすいというところもある。少人数なら、コミュニケーションも深いと思う。一方で、少人数ではできない課題に目を向けている。それぞれいい所も課題もある。地域に根差した小規模な学校、いいじゃないかという方もおられると思うし、保護者にも良いという方もおられる。一方で少人数になると不安だと。より多くの子どもたちの輪の中で育てたいという保護者もおられる。教育委員会は小規模の課題を解消したい。地域の中で話し合いをしていただいて、どうするのかを議論させていただきたい。

Q. (聞き取れず)

A. R12年度の表で、合計30となっているが、住民基本台帳に小串の校区にいる子どもが12年度を迎えた時の人数の数字。ここに校区外的人数は加味されていない。令和7年度については実数値で、学校にいる人数。

Q. 基本計画の冊子は総合支所に一冊あるだけ。少なくとも各公民館に冊子を2冊くらい置いてほしい。でない、パブリックコメントは出せない。ベースとなる文書がないのだから。

小学校の保護者と児童に教育委員会は学校を通じて、今後の学校の在り方を統廃合も含めてアンケート調査をしているのなら、公開してほしい。この問題は子どもたちの保護者の皆さんの思いがベースだ。子どもたちと保護者の思いを置いて地域の人間だけで考えるわけにはいかない。今日も保護者の参加が少ないし、発言も遠慮されるようなので。今後は地域として保護者の方々も加えた懇談会というか、協議会を学校運営協議会の皆さんにお願いしてしてもらおうと思っているが、アンケート調査があれば、「ある」と。それを公開していただきたい。

A. 計画書の本編の配付を用意していない点については、(申し訳ない?)

保護者については、計画についてはパブリックコメントと地元での説明会で、ということで案内しており、別途それぞれの校区では保護者宛てで、というのは今のところ予定していない。これまでの取り組みの中で、三期計画までであったので、各校に随時保護者と意見交換をするというのはあるので、引き続きやっていきたい。

子どもの意見は、一学期に簡単なアンケートを行っている。クラスの人数のこととか、通学に関して困りごととは何か、という質問の簡単なアンケート調査。これは、集計していつかのタイミングで公表する。

Q. もともと優先対象校が5学級以下となっているのをなぜ決めたのか。説明の際は学校の運営の状態を、なまの意見を、「こうだから学校もできない。」というのでも確かにあると思う。小規模校になれば先生の数が減るので、授業以外の学校運営も大変だと思う。複式学級と普通学級とどちらが良いかという比較も出ると思うが、複式学級を受け持っている先生の意見も生に聞きたい。「もう無理だ」という先生がいたら、任せる訳にはいかないから、普通学級ができる学校って。要するに教育委員会としては統廃合を進めたいのだから、それに関して、具体的な部分を言ってくれないと。以前は宇賀小と小串小の合併だったが、話が変わってきている。

三期の時にスクールバスの話が出たが、答えられないとのことだった。議会で市長が4キロじゃないとだめだと言ったというが、それをそのままここにもってきて話を通じるとしたら大間違い。宇賀まで行くなら、帰りに小串の子どもも乗せるという特例を作るとか。営業と同じだから、それぐらいの気持ちで住民を説得するぐらいの内容を持ってこないと受けられない。

A. 複式学級は一つのクラスに二つの学年があり、一人の担任が授業したり、一緒に生活したり、学級づくりをしたりする。これが大変かどうかは、担任は言わないと思う。大変と思っても、それがやりがいと思って小串小の先生、宇賀小の先生も取り組んでおられるのではないかと。ただ、一つのクラスに二つの学年がいて、それを一緒に授業するというのは、大変さは確かにある。その大変さを克服するために、先生方は研修したり、市教委も授業の仕方や学級づくりについては、サポートしている。複式学級がよくないから、小規模だから大規模と同じようなことができないから、統廃合しようという話ではなく、今現在小串小も宇賀小も先生方の努力や地域や保護者の協力で大変素晴らしい学校になっていると思うので、市教委もしっかり支えたいし、地域、保護者にはありがたいという気持ちも持っている。ただ、今後の推移や今の学級数を見ると一人の学年があり、一人の子と授業をするというのは担任にとっては、難しさがあるかと思う。先生とその子の一对一の授業になってしまい、その子の学びの広がり、深まりをどういう風に授業の中で作るのかは、担任も苦労しているのではないかと。令和12年度はそれぞれの学年である程度数がある。このぐらいの数ならば、よい授業が組み立てられると思う。ただ、ここから先の人数が減ると、今と同じような学校づくり、授業づくり、学級づくりが難しくなってくるかと思う。今から一緒に小串小・宇賀小をどのようにしていくの

か、統合について一緒に考えていこうということで、この計画を示している。

- A. スクールバスは、小学校4キロ、中学校5キロが基準。検討委員会での意見として、低学年の4キロは実情に合わないのではとの意見はいただいております。新たな制度を作るという答えをもっておらず、ここでは答えられない。将来に向けて現在以上の遠距離通学の支援をするための財政の裏付けがとれるかどうか、というところが市として担保できないと、その説明はできない。そこは期待に応えられない。必要ないと感じている訳ではない。

- Q. 生徒数の表だが、令和7年の合計が17で、令和12年の30人は、住民基本台帳上の数字であり、数字の趣旨が違う。そこは皆、誤解すると思う。令和2年の41も数字が大きすぎる。

学校は子どもと保護者の思いを大事にして、その思いが小学校の生活に生かされるような、そういう学校でないといけない。一方で小学校は地域の町づくりの大事な核であり、それがなくなるとは困ると地域の方も保護者の方もみんな思っている。しかし、児童と保護者に地域の核としてがんばれというのは少し酷だと思う。核としてがんばるのは公民館であり、今後は今以上に公民館の活動を活発にして、地域の核づくりを担う機関として位置付けるということの方に視点を置いて、小串の地域づくりをしていくことが大事かと思う。今、公民館で宿題やつつけ隊をやっているが、従来は小串小の子どもたちだけだったが、今年は川棚小、宇賀小に呼び掛けて、20人以上集まって賑やかにやっている。小串小からは5、6人。その中の女の子に聞くと、「小串小学校は男の世界だ」という。その学年は女の子は一人。男女比がバランスが悪い。小規模校の複式学級は先生の頑張りによって学力やいろいろなことが行われており、非常によい状況だと思うが、一方でそれだけではない問題点がある。友達がいっぱいいる、6年間同じ顔ぶれで過ごすので良いのか、男女比のバランスが悪い状況で過ごしてよいのかなど、色々ある。この地域としてこの説明会の後、保護者、地域で話し合っ、今後の小串小の在り方を小串として提案していきたい。

- A. 資料の数字は、令和2、7年度は、実際に小学校にいた(る)児童数。令和12年度は住民基本台帳で校区内にいる子どもの数をそのまま経年スライドしている状況。令和7年度の1年生(0名)が令和12年度の6年生(6)にいるので、(差は)校区外通学になる、というのが実際の所。12年度が合計で30名というのは住民基本台帳の数字であり、現在の17名も、少子化は進んでおり、同じ程度の動きがあるとすれば、5年先は少なくなるというのが想像できる。

- A. 公民館についても、文部科学省が「公民館は、コミュニティ作りの場であったり、防災の拠点であることが期待されている」と言っている。市教委もそう思っている。学校も核だし、公民館も核。学校は児童・生徒の教育環境が最優先に考えるので、とりあえず統廃合という形になってしまふ。市の公共施設マネジメントの関係で、「公共施設の適正配置に関する方向性」で、今後の町づくりをこうしたらどうかという提案をしている中で、豊浦地区では各公民館と、ふれあいセンターが何カ所もあり、こういったところをまちづくりの拠点と位置づけ、ここを中心にまちづくりをしていったらどうかと提案している。公民館は避難所としても使える場で、市教委が所管しており、公民館も振興させていきたいと思っている。どちらが大事というわけではないが、公民館も(??)について活用してもらえれば。

- Q. ・黒井、室津、宇賀の説明会に出たが、小規模校のよさがあるだろう、ということについて、各地域から出ている。今回の説明が複式学級を解消するというので、統廃合となっている。(案)が取れた段階でもう一度スタートすると言ったが、案は地域からも提案できるのか。例えば小規模特認校を小串か宇賀か室津で学校を残してほしいという提案をしたら、検討の余地に入るのか。

・スクールバスは、4キロの他に1時間以内に通学をというのがあったと思うが、小学校1年生の児童が、4キロの場所において、一時間では通えないと思う。統廃合はOKとなった時、スクールバスを出す際に、条件を検討してもらえないと、保護者のGOは出ないと思う。ルール上では検討の余地が無いように聞こえるし、統廃合となれば検討してもらえそうにも聞こえる。ぜひとも、スクールバスを。宇賀からくるなら、国道を通るから、ひろったり、おろしたりしてもらえればよいのではないか。是非、検討してほしい。

・川棚地区で説明会がないのがどうか。浸水地域に子どもたちを通わせるのか。川棚地区の保護者は大したことないと思っているかもしれないが、ハザードマップにあると知っていて、通わせるのは保護者は心配だと思う。川棚川の法面を強化するなど難しいと思うが、学校の方で対策、避難訓練をちゃんとするといった話をしてもらえないと、地域や保護者の賛同は得られないと思う。

・公民館は生涯学習の場であり、学習もしなければならないが、高齢化が進んでおり、福祉の中心で、支所と公民館を合わせたような、地域の核となるような場所にしていきたいと、(館長を決める)面接で言ったが、辞めることとなった。子どもがいなければ、地域の核にはならない。もし、真剣に地域の核として公民館を残すということであれば、子どもたちがいるような地域にしていかなければならない。学校が無くなったらきっと、川棚に引っ越したりして、小串には子どもが本当に住まない、という状況になるかも知れない。現に豊北がそうではないか。豊北に人が増えないのは小学校・中学校を1校にしてしまったからという話もあるかも知れない。

・宇賀が反対、小串が賛成となった場合、小串だけが進むのかという質問が宇賀で出た。回答は複式学級を解消したいから、小串がOKになったら小串を進めると言ったと思うが、そうなのか。

A. ・地域の意見が反映できるか、という質問。統合の是非について結論的な部分を各地域で確認した上で、計画策定となると、ずっと先になるので、そこを各校区ごとで調整した上で計画策定とはならない。時間的な区切りを引いて、意見は踏まえるが、計画と定めた上で、実施するかどうかはPTAで保護者や地域の方と話し合いの場を持ちながら是非について結論を出していくという形をとっている。計画策定までに総意が見えれば、計画に反映するかどうかは考えると思うが、待つて作成はしない。

・通学時間の1時間は低学年は1時間という目安も、実際には違うかも知れない。課題感を持っているが、遠距離通学の支援を適用するかどうかは、将来に向けての財源の担保が出来ないので、答えられない。

・川棚小が浸水地域という点は、ハザードマップでみるとそうだが、だから学校を壊すか、という訳にはいかない。小串小も宇賀小も土砂災害の色がついており、各学校で、災害対策をしなければならないと考えている。

・小串小と宇賀小に統合に向けた意識の違い、スピード感の違いがあった場合だが、市教委は同時に進めたいと考えているが、地域によって答え、議論の時間が違ってくると思うので、一方が統合すべきだとなり、一方がまだまだ、という場合は、豊北は8校が1校になったが、3段階くらいに分かれて統合していった。

・公民館については、地域の核には子どもがいけないといけないうのはその通りだが、こうすれば絶対大丈夫ということは言えないが、公民館の地域ふれあい活動で、主催事業として、親子の触れ合いのようなことを中心に事業を行っている。こういった活動は学校が統廃合になった地域でも、引き続き取り組むものだと考えている。こういった活動を通して、いつまでも公民館を若い世代が使えるような環境になればよい。

- Q. 統合がいいと思っていたが、150周年の記念誌を作成していて、たくさんの方が頑張ってきて来たのだと思うと、閉校になるのが忍びない。子どもの郷土愛が心配。伝統行事を継続させるために、盆踊りの保存会の人小学校に出向いて学校を上げて活動したり、神社のみこしを5、6年生と一緒に担いだりといったことが、統合されると小串だけの子を別の所に連れて行くのは難しいと思うので、郷土愛の育成が大丈夫なのか。小規模校も普通の学校も一長一短あるので、小規模校を残して、グループ学習や話し合い活動を多数の人間と活動する、授業をするようなものを月に何回か作っておいて、スクールバスを利用して、小規模校の子どもたちが川棚に行く、ということは考えられないのか。
- A. 郷土愛の部分。豊北は小学校が一つになっており、それぞれの地域で行われたことが豊北小学校ですることは難しい。ただ、学年、それぞれの校区で行っていた行事、全校で行っていた行事が、今豊北小の、例えば、神玉小が全校で行っていた古代米植えを豊北小の5年生がやっている。同じようには出来ないが、学校の工夫で取り組みが残っている。統合すると難しくなるのが現状。学校間の交流はやろうと思えば工夫次第でできる。小中連携の他に少々連携というのでも取り組むように市教委としては言っている。学校の努力になると思うが、スクールバスは、通学の時間でなければ運用してもらえるのかも。道徳や総合的な学習を小串小、宇賀小、川棚小が一緒になって授業することは可能かと思う。各校にタブレット端末が入っているので、実際に会わなくても端末上で授業をすることは可能。(適正規模とは違うが。)そういった面で小規模校のデメリットを解消することは十分できるかと思う。
- Q. 小串が大好きだが、地域を含めて、現実を考えよう。今1年生が0なのに、来年入ってくるのか。一番のネックはそこだと思う。兄弟がいれば入るかも知れないが、新たな子どもが入って、一人だったら、無理だ。保育園や子ども園で仲良くなって、みんなが川棚小に行けば、川棚小に行く。これが、現実。地域、保護者、子どもを含めて考えていく5年だと思う。実際に反対したら、統廃合を止めるのか。子どもが一人だけでもいる以上は残してくれるのか。地域も公民館があると言っているが、一部の人間しかやっていない。みんなが参加しているだろうか。根本的に考えなければいけないところはそこだ。どうやったら子どもが増えるか。何をやったらというのは、誰か返事が出来るのか。ここをみんなで考えるべきだと思うし、教育委員会も反対したら、最後までやってくれるのか。一人でも残っていたら、やってくれるのか。
- A. 今までの取り組みとして、地域の同意なしに統廃合を進めたことはないし、現時点でも進めるという考えはない。地域が統廃合しないという意思表示を受け止めたら、令和7年から12年までの5年間、統廃合の実施はできないと思っている。その間、児童が一人になってしまったても、学校の先生の配置はあるし、学校がある限り、学校は運営しないといけないというのが、市の責務。
- Q. 保護者。提言をする。子どもは小串小と川棚小を比較し、専門家の助言を得て、人数が多い方がよいとの判断で川棚に通っている。教育格差があってはならない。複式学級はきめ細やかだが、人学年にかける時間は半分になる。少人数は集団行動にも制約があり、個の在り方に偏りが出来るのではないか。三校から夢が丘中学校に進学したときに、なかなか交わりが難しいという現実がある。10年前からこの議論はあるが、少子化に対する行動や成果が全くないのがそもそもの原因。5年まってくれ、子どもを増やすという人がどれだけいるか。成果が出せるか。数字で決めてほしくないとの意見もあるが、数字でしか示せない。一人、二人、三人の学年が、ドッチボールがしたいという時、地域が学校に行くのか。小規模校でも教員は5、6人は必要になるが、川棚小は20数名教

職員がいるが、一人病欠しても右往左往している。統廃合で教員不足が解消すれば、結果的に児童一人一人の対応が図れるのではないかとあるが、運動会の盆踊りにも踊らない地域がどの口がいうのか。統合後に不利益を子どもたちが被らないように、強く求めるという観点で議論が出来たらと考える。例えば教育委員会からはスクールバスを出すから認めてほしいとか、地域はバスを出さないのなら認めない、などの議論がここであつたらと考える。JRのローカル線の問題では、乗らない人ほど、なくなったら困るというが、そういった議論にならないことを願う。

A. 提言ということなので、個別の回答せず、持ち帰って参考にする。

Q. ・市内の大規模校では、児童が教室から飛び出して、先生、養護教諭、給食関係の職員までが追いかけているという現実がある。統廃合の話が進む前に、川棚小現状、小串小の子どもが川棚小二行ったときの教育環境が良くなるのかどうかは確認した方がよい。

・子どもへのアンケートで、困りごととは何かと聞いたのなら、意見の誘導ではないか。

・小規模特認校は、吉母小はずっと希望してきたが、認められなかった。今提言したからといって市教委が受け入れる可能性は少ないと思う。

・豊北町はどうなったかという質問をしたが、課題はあると思うが、一つ一つは把握していないといった回答だった。統廃合に関して、小串小の児童のメリット、デメリット、地域のメリット、デメリットをはっきりしないと話を進めるのは難しいと思う。

・川棚小の（浸水問題）は、災害が起きて、迎えに行くときに、どんなに大混乱になるかは、見ておいた方がよい。

A. ・大規模校、川棚小の状況は、話し合いの中で、情報を伝えていかなければならないと思う。小串小の統配合のメリット、デメリットに関しても、地域で判断してもらうなかで、声を聞きながら、どういう判断をするかという議論はしていかなければならない。

・子どもへのアンケートは、「通学に関して一番困っていることは何か」という質問。決して誘導してはいない。

・小規模特認校は、現在内日小・中学校だけ。位置や学校環境を考えて採用した。他の地域で採用する考えはない。

・災害については、各学校影響がない訳ではなく、各校で対策をしていくということしかない。

Q. 今までの意見や、他地区の説明会の意見を概略で良いので、市教委のホームページなどで出してほしい。広くいろいろな人に目を通してもらいたい。

A. パブリックコメントを実施中で、意見は公表する。説明会の概要も好評する予定。

Q. ・意見記入欄という紙は、今まで何通くらい出ているのか。

・総合支所にパブコメだす所があるし、ファックス、メールで出せるが、意見記入用紙よりもパブコメ用の用紙を配付してほしかった。

A. バラツキはあるが、10枚程度はあるかと思う。パブリックコメントは説明会とは別の機会と考えており、会場では直接記入する用紙を配っている。

Q. 説明会を聞いての意見をパブコメで出した場合、内容の区分が違うからとはねられるのか。

A. 交えて書いていただいてもよい。